

県政への反映状況（令和2年度「県政への提言」）

＜令和2年度に取り組んだもの及び令和3年度 of 取組状況＞

● 子育て世帯へのサポーター制度について

子育て世帯へ家事や育児等の援助を行うサポーター制度があるとよい。

⇒ 家事・育児等の援助を行い、子育て世代をサポートする組織として、各市町村が設立運営するファミリー・サポート・センターがあり、子どもの預かり等の援助を依頼したい人と援助を提供したい人が会員となって、急用時の一時預かりや保育施設への送り迎えなどを行っています。

多くの方に会員登録をいただき、センターの活用が進むよう、ホームページや研修会等で、普及に向けた啓発を実施しました。

（子ども未来課）

＜参考＞

岡山県内のファミリー・サポート・センターの案内ページ

<https://www.pref.okayama.jp/page/553244.html>

● 学校施設の防犯対策について

学校施設には生徒の個人情報等が保管されており、防犯対策を徹底してほしい。

⇒ 岡山県個人情報保護条例に基づき、職員の意識啓発に向けた職場研修や、鍵のかかるロッカーの総点検などを実施しました。また、保護者から徴収した金銭の口座管理や、警備会社への学校施設等の警備委託など、学校施設の防犯対策の強化を進めています。

（教育委員会）

● 障害者手帳のカード化について

現在の県の障害者手帳はサイズが大きいため、カードサイズに変更してほしい。

⇒ 障害者手帳のカード化について、携帯しやすさ、耐久性に優れる等の利点と、記載できる情報が限られるなどの支障について、関係団体からの意見聴取等を実施しました。

引き続き、障害者手帳を持つ皆さまの利便性の向上と使いやすさを考慮しながら、慎重に進めてまいります。

（障害福祉課）

● 信号機のない横断歩道での歩行者優先ルールについて

信号機のない交差点で通行者が交差点にさしかかろうとしても、スピードを落とさず、すり抜けていく車が多い。取り締まりを強化してほしい。

⇒ 信号機のない横断歩道での歩行者優先ルールの徹底について、指導取締りの強化を行うとともに、警察官が街頭で、ドライバーへルール徹底の啓発、歩行者へ意思表示の呼びかけなどの啓発活動を実施しました。

(くらし安全安心課、県警本部)